



2016年9月28日

日本内部監査協会「会長賞」を受賞

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、本日一般社団法人日本内部監査協会（会長：伏屋 和彦）から、第30回会長賞（内部監査優秀実践賞）を受賞しました。

1. 日本内部監査協会について

日本内部監査協会は法人会員2,300社、個人会員4,500人から構成され、内部監査の普及・発展を通じ、産業・経済の健全な発展に資する活動をすすめている一般社団法人です。

2. 会長賞について

会長賞は、「協会会員であって、内部監査が制度的に充実し、かつ長期にわたり内部監査活動が継続して積極的に行われ、成果をあげ、内部監査の普及・発展に貢献している企業・経営組織体を表彰する」ものとされています。会長賞は1987年に創設され、今回で30回目を迎えます。

日本内部監査協会の審査委員会（委員長：檜田 信男）の客観的な検証を通じ、「内部監査が機能し、経営課題の達成に貢献していること」「審査基準に一般的に適合し、予見困難な要素の多い企業環境のもと経営課題に対応し、今後も内部監査部門の先進的な運営が期待できること」が評価され、今年度は損保ジャパン日本興亜が唯一の受賞会社となりました。

3. 今後に向けて

損保ジャパン日本興亜は、今後も内部監査を含めたコーポレートガバナンス機能を高め、透明性の高い会社運営に努めることで、すべてのステークホルダーとの信頼関係を強化していきます。

以上